

人間社会におけるヴィジュアル・デザイン・コミュニケーション

視覚デザインで円滑なコミュニケーションの促進

従来技術

視覚的なイメージデザインを作りあげる際に、ともすれば感覚的に形成してきました。

研究技術

- ・ 研究対象のある団体（企業、店舗、施設、ブランドなど）におけるシンボルマークやロゴタイプは、その団体の理念や指針を反映する顔であり、核となるものです。それらを中心にさまざまなアイテムにヴィジュアル展開し、その団体の効果的なアイデンティティの確立法を探っていく事が肝要です。
- ・ 広報、広告の宣伝ツールのデザインはポスターやフライヤー、パンフレットさらにホームページなどにおけるヴィジュアル表現を研究して効果的な情報発信を目指します。
- ・ 商品企画開発デザインとしては現在、ブックデザイン、着物デザイン、ジュエリーデザインなど具体的な商品デザイン開発、およびパッケージデザインの研究をプロジェクトを組んで進めていければ成果が期待できます。

研究技術の裏付け

各々の目的に応じたデザイン開発には、プロジェクトチームを作って推進していくと満足のいく成果が得られやすいです。





特許関係・参考資料

中野デザイン研究室編纂 switch 伝統の虫 1 ~ 5 (継続中)

研究者

京都工芸繊維大学
大学院工芸科学研究科
デザイン学部門

准教授 中野 仁人

グラフィックデザイン

研究テーマ

グラフィックデザインにおける諧調表現について
伝統的イメージの引用に関する検討
タイポグラフィの視認性について
エディトリアルデザインの可能性について